

## 第13回 十勝川中流部川づくり報告会【議事録概要】

### 【開催要旨】

開催日時：平成30年10月15日（月） 平日 13:30～15:00

開催場所：十勝川インフォメーションセンター 2F

出席者数：30名

### 【議事要旨】

報告テーマ	報告内容等
開会挨拶	十勝川中流部市民協働会議事務幹事：和田より、開催にあたっての挨拶
平成30年度 活動経過報告	事務局：橋本より、平成30年度（4-10月）の当事務局の活動を報告
帯広工業高校による活動報告	帯広工業高校の生徒が不参加のため、事務局から活動概要を報告 1. 環境土木科1年生：事務局 橋本 2. 環境土木科2年生：事務局 室瀬 3. 環境土木科3年生：事務局 和田 4. 流木処理研究班：事務局 穴戸
帯広農業高校による 相生中島地区湿地活動について	相生中島上流湿地での魚類調査について
河川工事の経過及び今後の川づくりについて	帯広河川事務所計画課 佐藤主任より、平成30年度の十勝川中流部川づくりに関連した工事の経過と今後の川づくり概要を説明
今後の活動予定	事務局：紅葉より、今年度の活動の残りについて 1. 高校との連携（横断測量のまとめ、タンチョウ給餌場設置、防災講習） 2. 十勝川アシリチェプノミの開催 3. いい川・いい川づくりワークショップ IN 北海道十勝の開催 4. 第12回十勝川中流部川づくり報告会
講評	十勝川中流部市民協働会議 副代表 石原由美子氏より講評を頂く
閉会挨拶・その他	河川管理者：帯広河川事務所 神保所長様より閉会挨拶を頂く

【報告概要】

発表者	発表 テーマ	要 旨
<p>十勝川中流部市民協働会議 事務局 橋本</p>	<p>平成 30 年度 活動報告</p>	<p>今年度の4月～10月に行った主な活動内容            1) H30.5.12            市民フォーラム十勝講演会 2018「洪水防災の集い」に、当事務局の和田哲也氏が音更川の河川災害について講演            2) H30.5.17            十勝川相生中島上流湿地の水域拡大を目的に、平成29年度に続いて2度目の掘削を実施            3) H30.6.7            札内川光南地区 水辺の楽校においてH29に植樹した「実のなる木」の付近を除草            4) H30.8.9            第17回韓国「川の日」全羅南道 木浦（モッポ）大会へ、H29 いい川いい川づくり準グランプリ受賞者として藤堂事務局長が参加したことを報告            5) H30.9.12            十勝川中流部川づくりワークショップで合意された川づくり案9つの論点箇所について、工事後及びH28出水後の現地状況の共通認識を目的に見学会を実施            6) H30.10.6            「十勝の川づくりワークショップ」（トヨタソーシャルフェス）を開催、実のなる木の植樹会、手作り船レース、ヤマメの放流会を実施            7) H30.10.13            十勝ダム・キナウシ地区植樹準備会として、外来種オオアワダチソウで覆われている現地を樹林に転換するための植物種調査を実施</p>
<p>（代理） 帯工環境土木科1年 事務局 橋本</p>	<p>上流部 の 横断測量 札内川 中札内橋</p>	<p>1) H30.6.5            札内川の礫河原再生へ向け、札内川の特徴・歴史などの環境学習            2) H30.6.19            札内川中札内橋上流部で横断測量（1回目）の実施（札内川ダムからの放流前）            3) H30.9.25            札内川中札内橋上流部の横断測量（2回目）の実施（札内川ダムからの放流後）</p>
<p>（代理） 帯工環境土木科2年 事務局 室瀬</p>	<p>クサヨシ 播種と モニタリング 十勝川十勝大橋上流左岸</p>	<p>1) H30.6.7            十勝川十勝大橋上流左岸において、ヤナギ林による再樹林化を防止するためヤナギ実生の除去及びクサヨシの播種作業を実施            2) H30.9.20            十勝川十勝大橋上流左岸において、6月7日に播種したクサヨシの生育状況の確認として、播種後のモニタリング調査を実施。植生による植被率は全体で51%、クサヨシの発芽率は、全体で約13%、クサヨシ以外の植物は12科37種を確認</p>
<p>（代理） 帯工環境土木科3年 事務局 和田</p>	<p>防災に関する授業</p>	<p>1) H30.6.11            帯広開発建設部治水課、帯広建設管理部治水課、帯広市総務課から講師を招き防災授業を開催、帯建及び建設管理部からは、災害時の状況や治水に関する説明、帯広市からはH28災害時の状況や災害の備えについて説明があった            2) H30.9.3            水理学について、売買川下流部で流量観測を行い、その後、教室に戻り調査データに基づいた流速・流量計算を行う</p>

発表者	発表 テーマ	要 旨
帯工環境土木科 流木処理研究班 (代理) 事務局 宍戸	札内川光南地区水辺の楽校に おける流木の腐朽調査	1) H30. 6. 10 H30 年度として第 1 回目の流木腐朽調査を実施、調査箇所は光南地区水辺の楽校において 4 パターンの暴露試験を H29 から継続して行った 2) H30. 7. 25-26 第 2 回目の流木腐朽調査と翌日に p h と電気伝導率試験を学校内で実施、これまでに判ったことは、流木の腐朽が進むと p h がアルカリ性に傾き電気伝導率も一定でない状況になるものと考えられる、また、H28 に発生した流木と H29 に切り出した生木の試験材では大きな変化は見られていない
帯広農業高校 生徒 3 名	相生中島地区の湿地活動報告	<p>私たちが光を当てたい十勝川の宝物は、「湿地」です。            私たちは、十勝川中流部での湿地づくりを通して、湿地の価値を高め、地域に広げていきたいと考えています。            湿地は川の命のゆりかごとも呼ばれており、穏やかな環境のなかで昆虫や魚類をはじめとする豊かな命をはぐくんできました。            しかし、十勝川流域では、戦後の 60 年間で、かつての湿地の 98% が失われてしまいました。            命のゆりかごを失った十勝川は現在、生物多様性の危機に瀕しているのです。</p> <p>十勝川の「いい川づくり」を進める十勝川中流部市民協働会議に参加した私たちは、失われた湿地を復元することで流域の生物多様性回復の場とすることはできないか? という提案をしてみました。</p> <p>こうして始まった活動は、事前学習、活動計画、環境デザイン、湿地づくり、調査へと進んでいます。</p> <p>私たち高校生がやってみたいことを提案し、専門家が助言と指導、市民の方々が実際の活動を手伝い、支援してくれる十勝川独自の川づくりは、地域のつながりによって支えられているのです。</p> <p>活動の成果です。            生物が住みよい湿地環境づくりを行った結果、生息する生物の種類が増えること、生息密度が高まることがわかりました。            また、生物調査の結果から、湿地再生後 3 年で約 3 万を超える魚摂生息数を確認することができました。            湿地に残るたくさんの野生動物の足跡からも、十勝川の豊かな命が回復しつつあることを実感しています。            湿地の生物の全貌を探るため、昨年からは環境 DNA 分析も取り入れており、調査方法も進歩しています。            こうした記録は、湿地づくりと環境の変化を検証する貴重なデータです。            活動を客観的に評価し、成果を高めることで、地域に広げていきたいです。</p> <p>湿地を再生したことで、たくさんの生物が生まれました。そして、一連の活動は私たち高校生に多くの学びの機会を与えてくれました。            人と川のつながりが生まれたこと、命への感動が生まれたこと、たくきんの笑顔が生まれたこと。            これが私たちの十勝川、いい川づくりです。</p>

発表者	発表 テーマ	要 旨																														
帯広河川事務所 佐藤主任	川づくり H30年度実施工事箇所について、 (案) 論点箇所の状況について	1) 十勝川中流部の川づくり(案)の策定から十勝川中流部市民協働会議の発足、現在の川づくりの進め方の概要説明 2) 十勝川中流部川づくりワークショップ川づくり(案)に基づく整備状況は、工事完了箇所は4箇所、現在進行中は5か所 3) 平成30年度の河道掘削工事は、途別川合流点下流部左岸(十勝エコロジーパーク)において流下断面の確保を目的に河道掘削工事(L=1.25km)を実施 4) 北海道緊急治水対策プロジェクト ハード対策について、H28~H31まで十勝川水系の本川や支川を対象に災害復旧を行うとともに再度災害防止を図るため堤防工事や河道掘削工事などを緊急的かつ集中的に実施 5) 川づくり(案)9つの論点箇所の現地見学会の実施、今後、十勝川中流部市民協働会議の中で、維持管理の在り方について議論を深めていきたいと考えている																														
十勝川中流部市民協働会議 事務局 紅葉	今後の活動予定	今後とは、今年度10月から3月までの活動報告 1) 札内川礫河原再生の一環で行った帯広工業高校環境土木科1年生による横断測量のとりまとめ授業を予定 2) 帯広工業高校環境土木科2年生によるタンチョウ給餌場の設置 3) 帯広工業高校環境土木科3年生は防災授業の最後として行い、今回はアイヌ文化についても講義が有る予定 4) アイヌ文化の継承を目的にアシリチェプノミの活動支援 5) いい川・いい川づくり IN 北海道十勝の開催支援 6) 今年度3月で川づくり報告会の開催予定																														
十勝川中流部市民協働会議 事務局 室瀬尾	H30相生中島上流湿地の魚類調査(秋季)結果	本日、午前中に行った魚類調査の結果報告 <table border="1" data-bbox="592 1256 1075 1727"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>狭窄部</th> <th>中央部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウグイ</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フクドジョウ</td> <td>136</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エゾホトケドジョウ</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イトヨ</td> <td>353</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>イバラトミヨ</td> <td>228</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジュズカケハゼ</td> <td>736</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>ヤツメウナギ</td> <td>11</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1478</td> <td>395</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">1873</td> </tr> </tbody> </table> <p>調査した箇所は、2箇所の狭窄部と広域部である中央部で実施、50m<sup>2</sup>で行った調査結果は上記の表の通り、狭窄部は両岸に水草があるため予想以上に多くの魚類を確認できた。後日、全体の水域の面積比で魚類の推定魚類数を算出する予定、H28の出水後は捕獲数が減少したが、その後捕獲数は増加傾向にあります。</p>	種類	狭窄部	中央部	ウグイ	12		フクドジョウ	136		エゾホトケドジョウ	2		イトヨ	353	302	イバラトミヨ	228		ジュズカケハゼ	736	91	ヤツメウナギ	11	2	小計	1478	395	合計	1873	
種類	狭窄部	中央部																														
ウグイ	12																															
フクドジョウ	136																															
エゾホトケドジョウ	2																															
イトヨ	353	302																														
イバラトミヨ	228																															
ジュズカケハゼ	736	91																														
ヤツメウナギ	11	2																														
小計	1478	395																														
合計	1873																															

【質疑応答】

質問者	質問内容	解答者	回答内容
紅葉氏	農業高校の魚類調査で、環境 DNA について再度説明をお願いしたい	帯農 高山教諭	<p>環境 DNA は、昨年度から調査を行っていて、実際、湿地から 1 リットルの水を採取し、その水に残されている DNA 断片からそこに住んでいる生物を特定する方法です。</p> <p>この方法は、昨年度から行い現在注目されている調査です。実際、この調査方法による調査結果は、魚類種は捕獲した数とほぼ一致しています。その中で捕獲した段階では例えばウグイの中でも稚魚ではウグイ類としか判らないものでも DNA 判定では魚類種を特定できるのもこの調査の面白いところと思います。魚類以外では、調査していませんが、DNA 判定では結果を出すことは可能です。</p>

【講評・閉会】

発言者	発表 テーマ	要 旨
<p>十勝川中流部市民協働会議 副代表 石原由美子氏</p>	<p>講評</p>	<p>皆さん本日はお疲れ様でした。副代表の石原です。</p> <p>私の普段の仕事は川に関係のない仕事をしていますが、十勝にとって一番大事なものは何かというと環境・十勝川をどう活かして行くのかを考えていかなければならないという事で長く皆様と活動をさせて頂いています。</p> <p>本日は加賀屋先生が要らしていませんので、代わりに講評ということで、加賀屋先生みたいな講評は出来ませんが、私を感じたところだけ話をしたいと思います。</p> <p>本日、工業高校の皆様は来られていないのですが、ここ数年皆様に頑張って頂き1年、2年、3年という事で、1年生の方には横断測量を3年ほどやって頂き、また別の団体である札内川懇談会からも支援を頂いています。そして2年生の皆様には、ヤナギを伐採して抜いた後にクサヨシを播種という事で草地の復元をして頂いております。そして3年生の方には、地域防災という事で、やはり実際生活していく中で考えていかななくてはならないことを3年生の方と一緒に考えて頂いているという事をさせて頂いております。</p> <p>実は私も帯広工業高校を卒業していてもものですが、私が学生の時とは全然環境が違ってこのような形で一般の方々と接して何かを成し遂げるとい事は有りませんでした。今このような時代になって皆様が一生懸命やっ頂いていることに、本当にいい時代になったものと感じていると事です。</p> <p>実際に皆様が活動をやって頂けるという事についても学校の方にも非常に感謝しているところです。そして農業高校さんもずっと前からこの会議に参加して頂いて、毎年毎年発表して頂いているのですが、内容がどんどんバージョンアップしているというか、最初は高校生がこんなことを考えているのだなというところから始まって、今は実際どのような事が必要なのかという事を実際活動して頂いております。今日は湿地の復元という事で、十勝川流域で98%も失っているという問題定義からそれについての色々な個別の説明を頂きました。農業高校様の方からもお話されていましたが、やはり協働という事で市民・専門家、それに加えて高校生の皆様という形でこういう活動をしていることは、やはり全国的にも稀と思いますので、これからは是非一緒に参加をして続けて頂ければと思います。それがいい川づくりに繋がるという事で今日発表して頂きましたが来年度も更なる飛躍を期待して、おじさんたちをう〜とコキ使ってやって頂きたいと思ひます。</p> <p>今後の活動予定の中で、去年も有りましたけどタンチョウの給餌場づくり、ああいうものを実際に作られているという事は見ているのですが、実は私が十勝川温泉の第一ホテルに宿泊した時、ちょうどラウンジから給餌場見えるのですが、そうすると泊り客に対してホテルの方が積極的にタンチョウの飛来を説明しており朝方に良く見ることが出来ますよ。と説明しておりました。タンチョウの給餌場を作るという事が実は観光資源に繋がっていくというような大きなことになって行きますので、やはり地道な活動を皆さんと一緒にいき、十勝が良くなるような形で、高校生の皆様とも活動していきたいと思ひますので、またこれから、卒業してからも是非、機会がありましたら参加して頂きたですし、どんどん新入生の方々にも引き継いで伝えて行って頂きたいと思ひます。</p> <p>今日は発表どうも有難うございます。また来年も期待しております。</p>
<p>帯広河川事務所 神保所長</p>	<p>閉会挨拶</p>	<p>皆さん、こんにちは。今日は午前の部で植物調査、魚類調査、引き続き午後から報告会という事で約3/4日ぐらいお疲れ様でした。</p> <p>私は帯広に4月に初めてきて、その前は他の建設部に居ましたが、治水、利水、環境という中で皆さん一緒に活動して頂いたり、調査して頂いたり協力しながら川づくりというものを、あまり経験がないという事で非常に帯広は素晴らしいなと思ひますし、我々河川事務所の人間も治水、利水も大事なのですが環境も含めて皆様と一緒に協力しながら密着・考えながら事業を進めて参りたいと思ひますので引き続きご協力の程、お願いしたいと思ひます。</p> <p>今後また12月にいい川づくりワークショップとか色々ありますけど、皆さんのご協力を得て引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>簡単ですけど、本日はどうも有難うございます。引き続きよろしくお願ひ致します。</p>



○写真帳



参加者の様子



開催挨拶：事務局 和田氏より



活動報告：事務局 橋本氏から



活動報告：事務局 室瀬氏から



活動報告：事務局 和田氏から



活動報告：事務局 穴戸氏から



活動報告：帯広農業高校生徒から





帯広河川事務所 佐藤主任から河川工事について



今後の活動報告：事務局 紅葉氏から



相生中島上流湿地 秋季の魚類調査報告：事務局 室瀬氏から



質問に対して応答する高山教諭



講評：当会議副代表 石原由美子氏



閉会挨拶：帯広河川事務所 神保所長